

第40期（平成30年3月期） 第2四半期 決算説明会資料

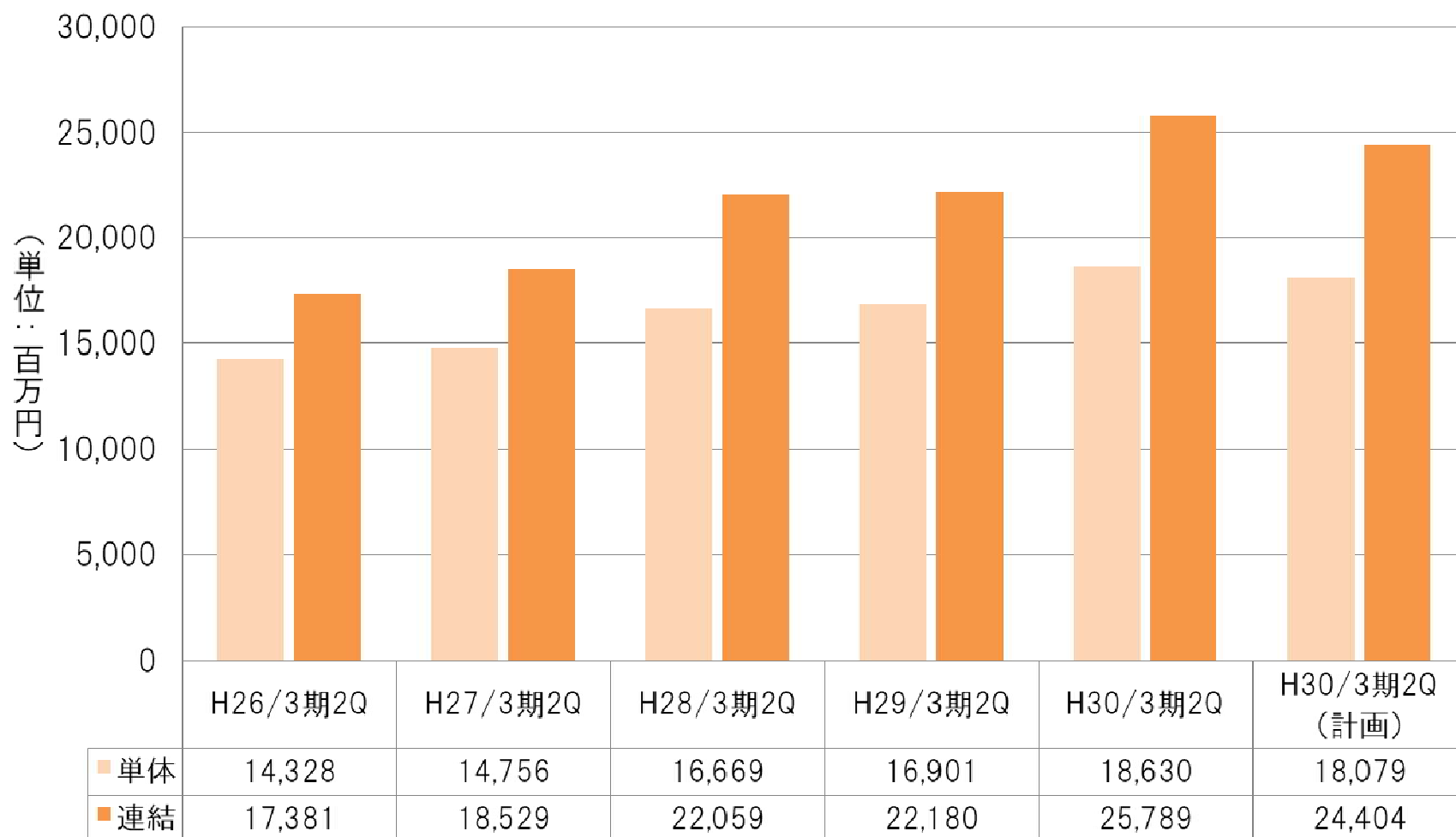
平成29年11月9日



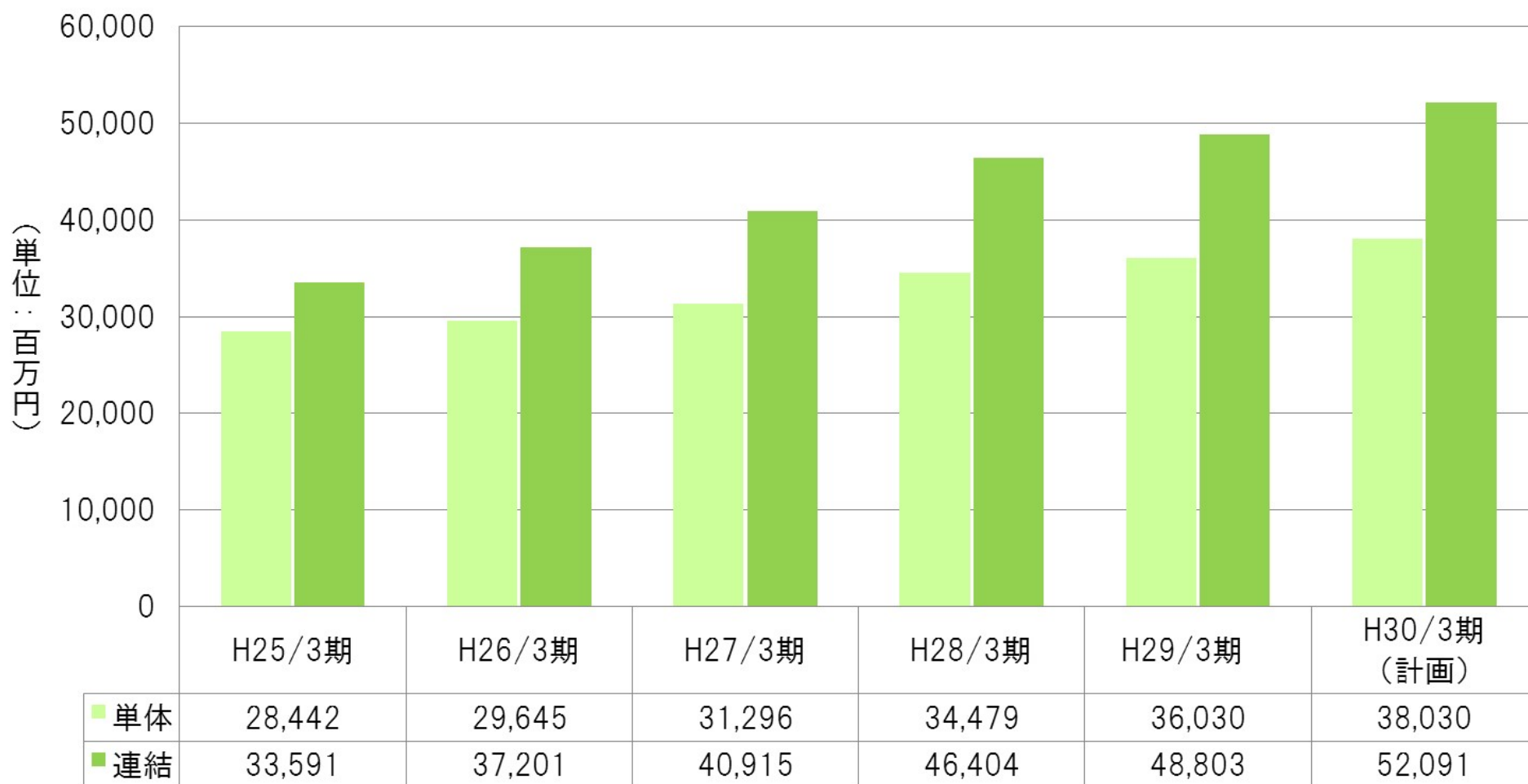
目 次

- | | | | |
|----------------------|--------------|---------------------|-------|
| 02. 売上高の推移（単体・連結） | 第2四半期 | 16. 地域別実績 | 第2四半期 |
| 03. 〃 | 通期 | 17. 地域別計画 | 通期 |
| 04. 営業利益の推移（単体・連結） | 第2四半期 | 18. 今後の事業計画 ① | |
| 05. 〃 | 通期 | 19. 今後の事業計画 ② | |
| 06. 経常利益の推移（単体・連結） | 第2四半期 | 20. 設備投資の推移（連結・単体） | |
| 07. 〃 | 通期 | 21. 減価償却費の推移（連結・単体） | |
| 08. 四半期純利益の推移（単体・連結） | 第2四半期 | | |
| 09. 当期純利益の推移（単体・連結） | 通期 | | |
| 10. 平成30年3月期 第2四半期 | 単体業績の概要（対前年） | | |
| 11. 〃 | （対前年、利益変動要因） | | |
| 12. 平成30年3月期 第2四半期 | 単体業績の概要（対計画） | | |
| 13. 〃 | （対計画、利益変動要因） | | |
| 14. アリアケグループの世界8極体制 | | | |
| 15. 平成30年3月期 第2四半期 | 主要子会社の概要 | | |

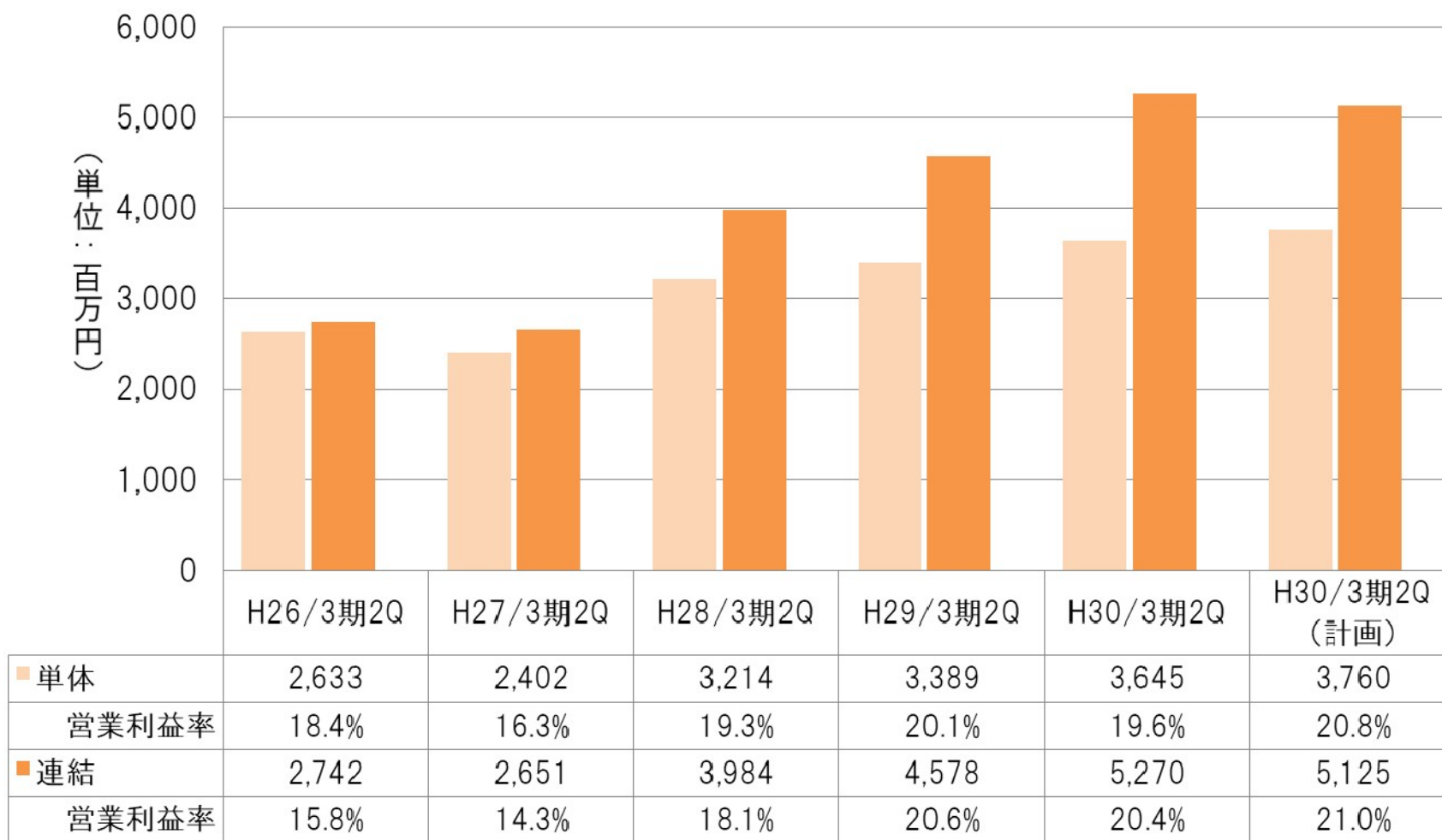
第2四半期 売上高推移（単体・連結）



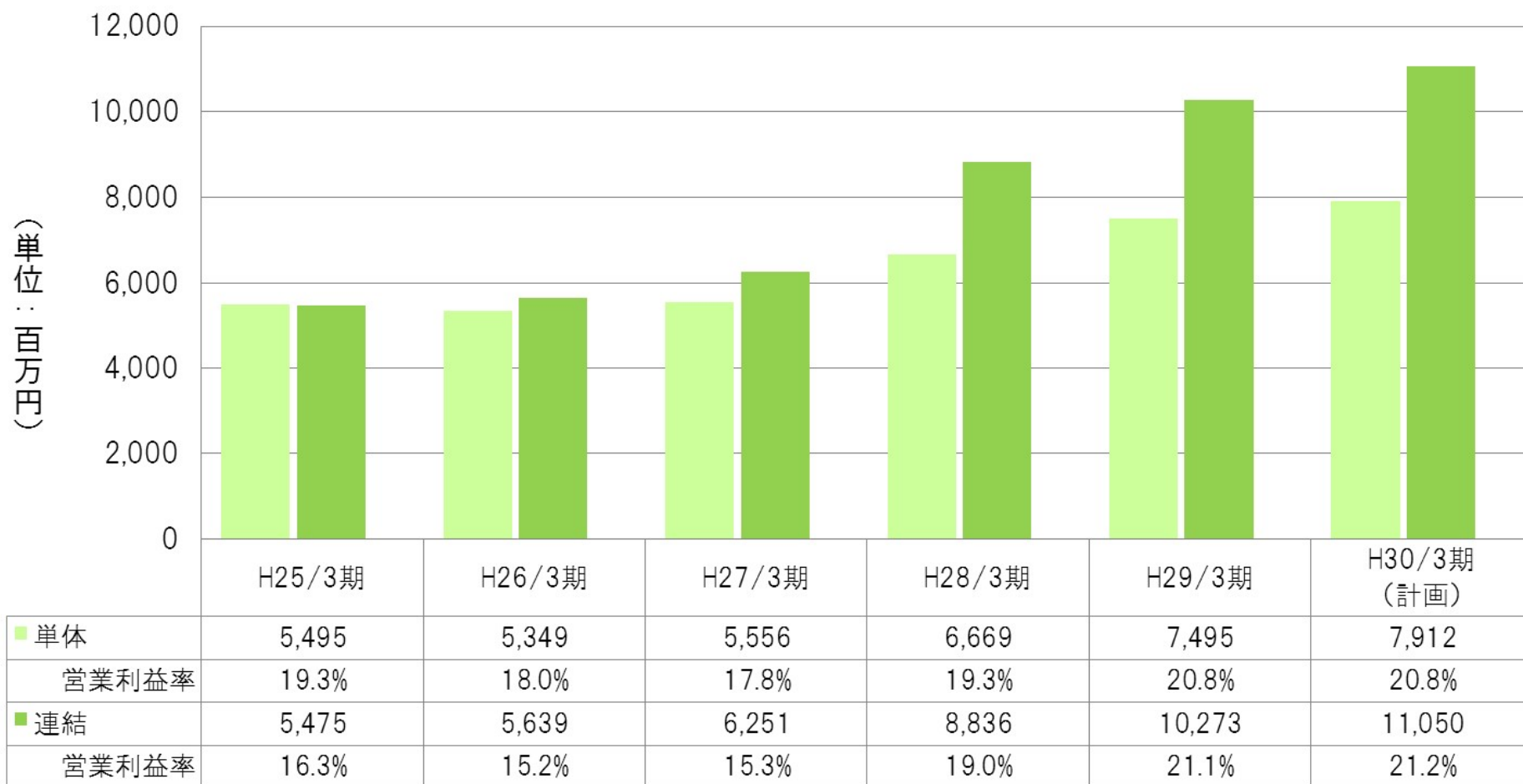
通期 売上高推移（単体・連結）



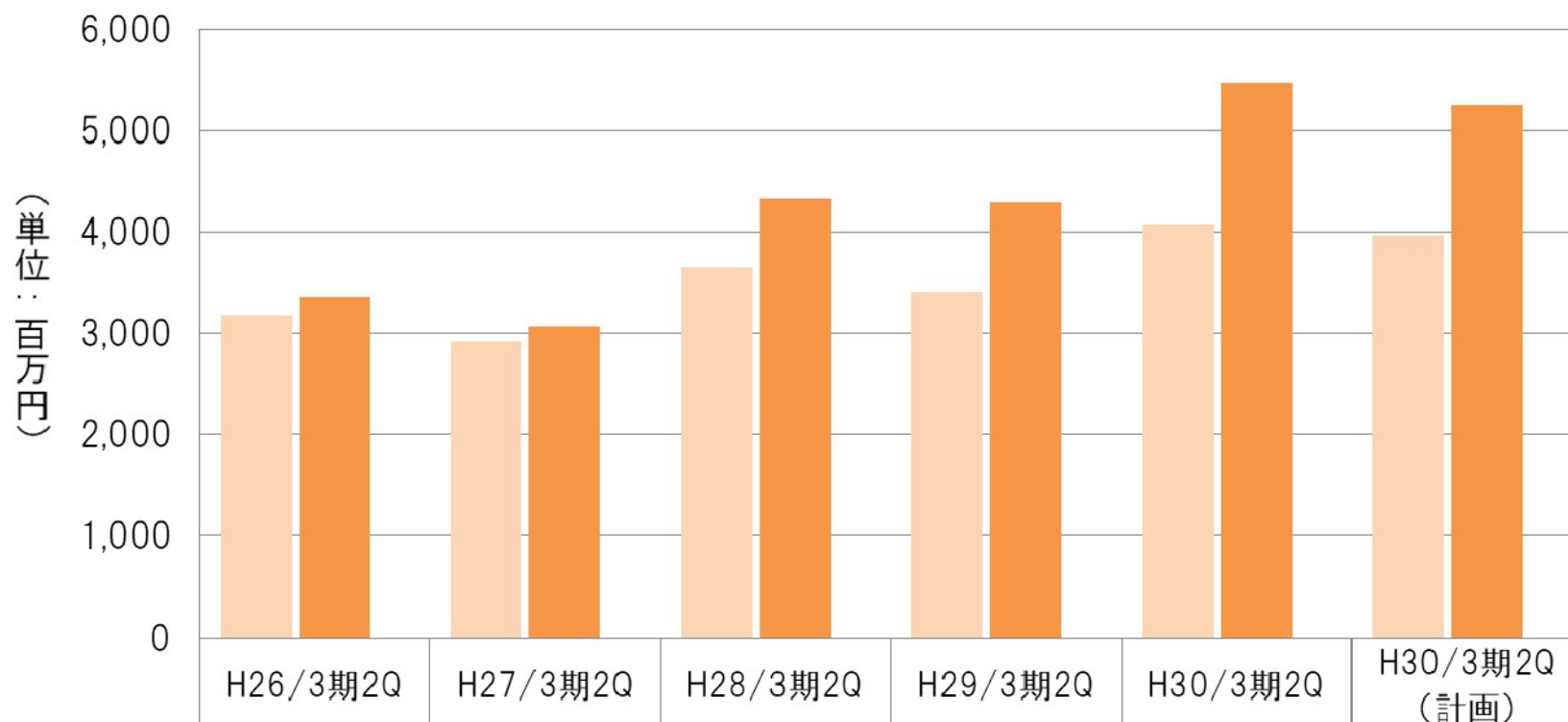
第2四半期 営業利益の推移（単体・連結）



通期 営業利益の推移（単体・連結）



第2四半期 経常利益の推移（単体・連結）

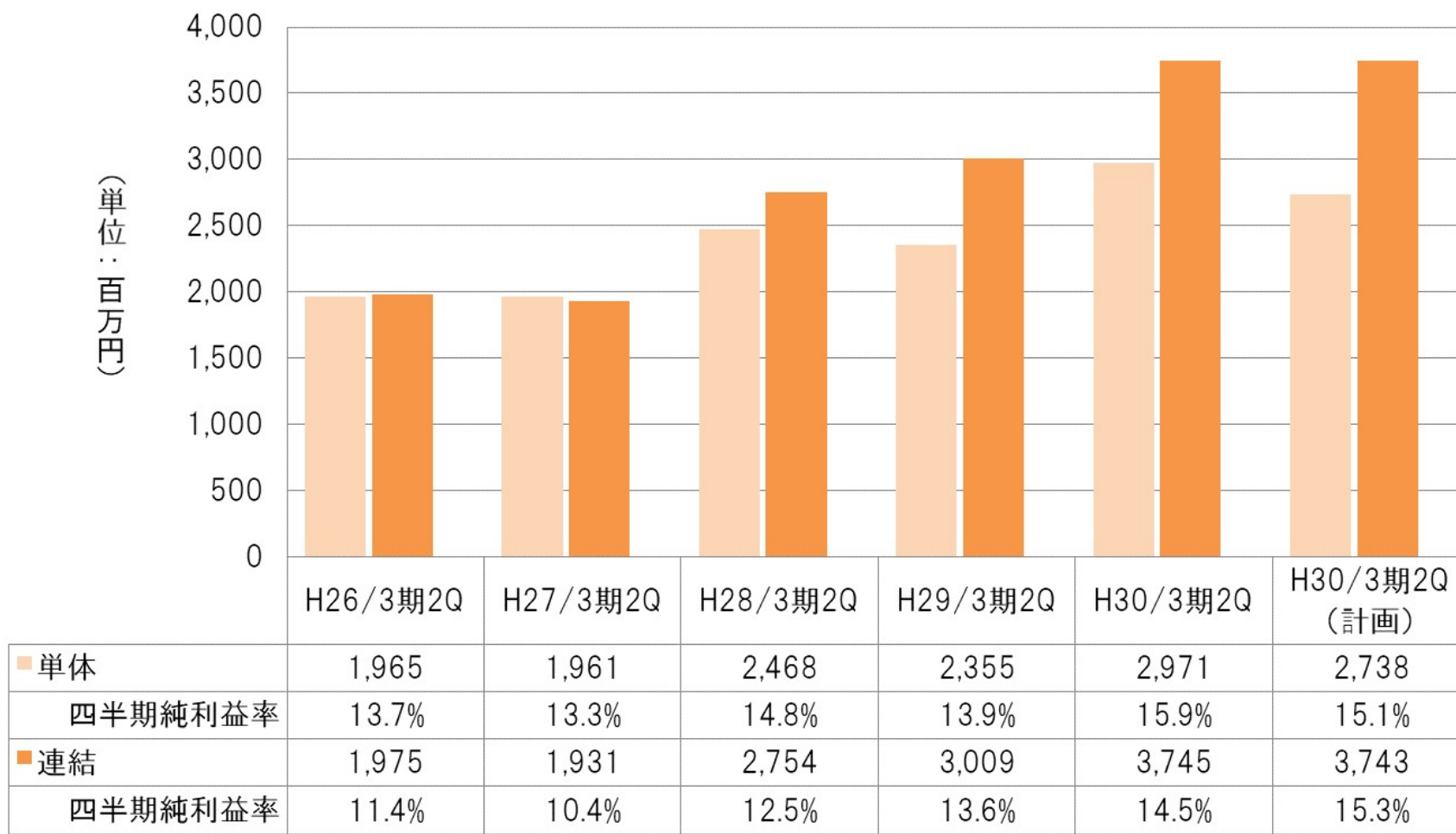


■ 単体	3,178	2,916	3,648	3,399	4,074	3,971
経常利益率	22.2%	19.8%	21.9%	20.1%	21.9%	22.0%
■ 連結	3,351	3,065	4,322	4,284	5,471	5,244
経常利益率	19.3%	16.5%	19.6%	19.3%	21.2%	21.5%

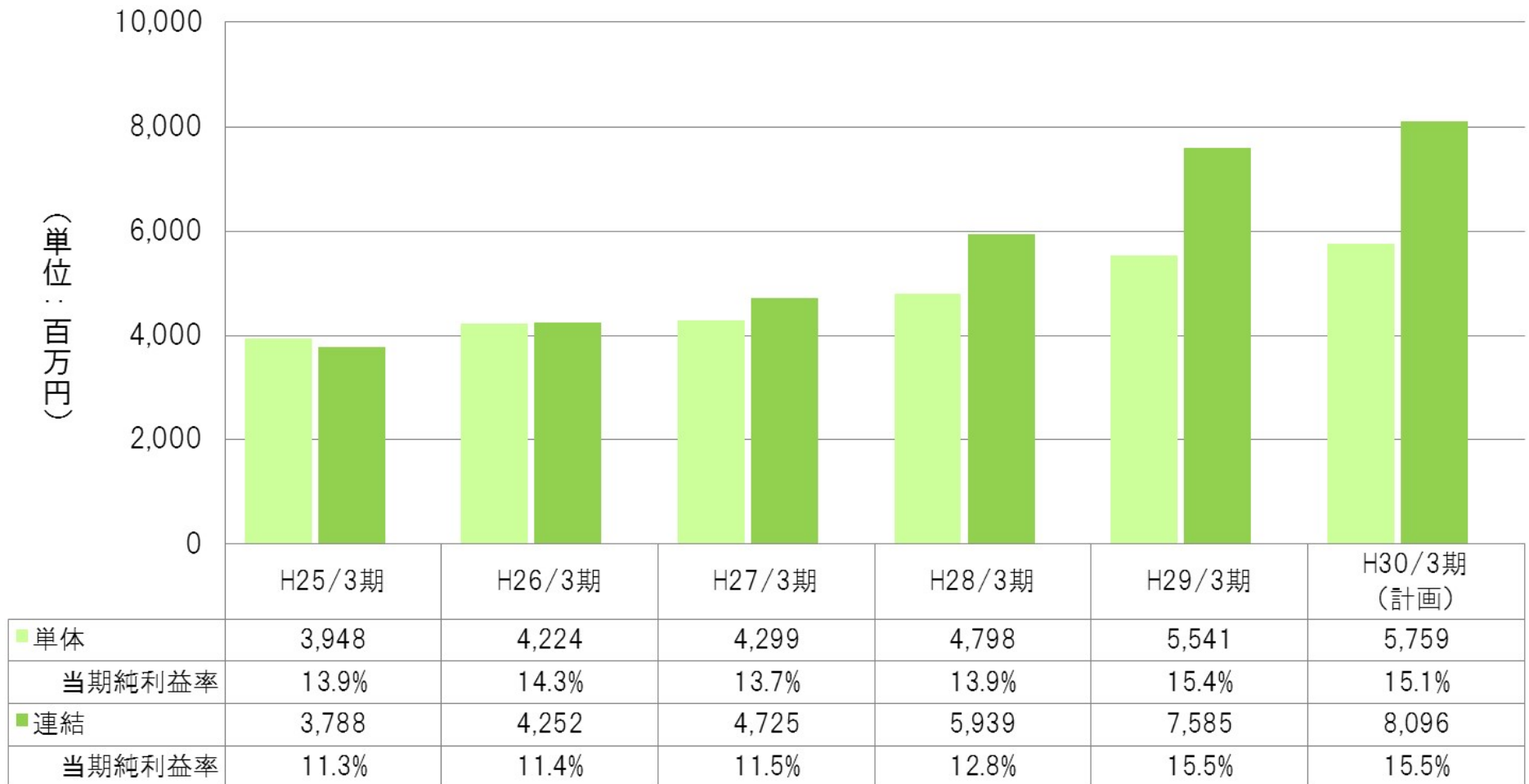
通期 経常利益の推移（単体・連結）



第2四半期 親会社株主に帰属する 四半期純利益の推移（単体・連結）



通期 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移（単体・連結）



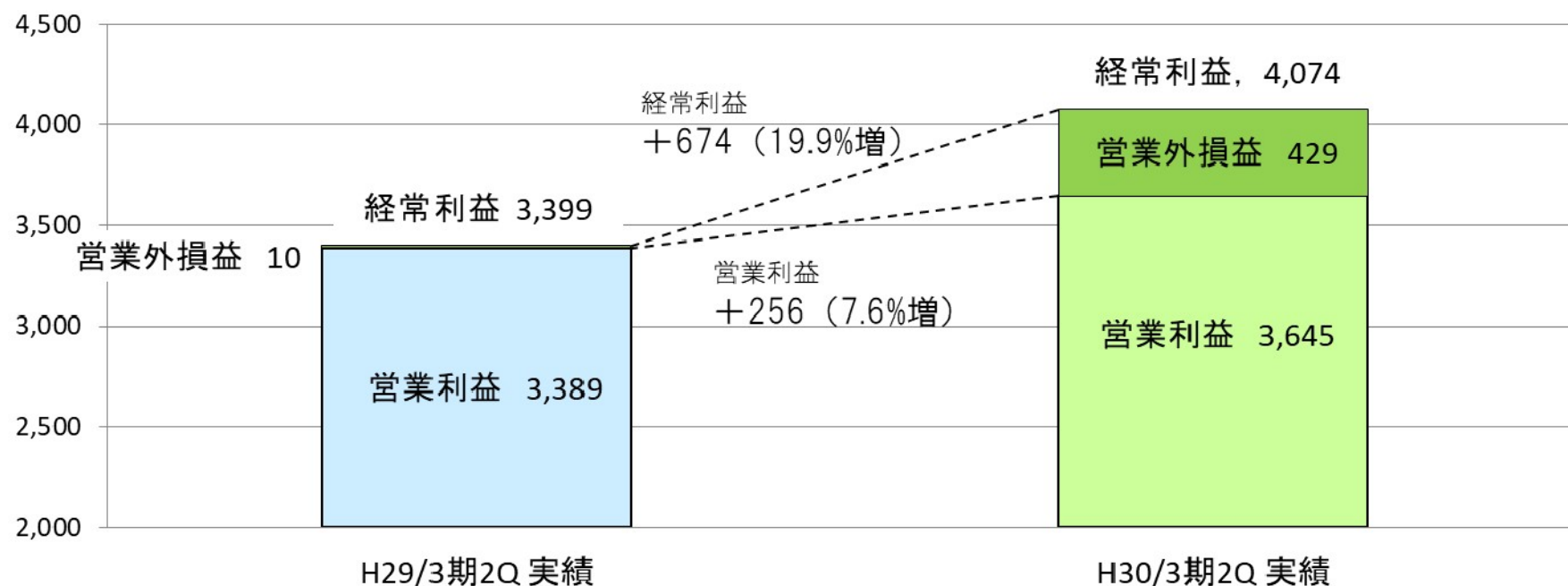
【前期比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は18,630百万円、前年同期比1,729百万円増(10.2%増)となりました。

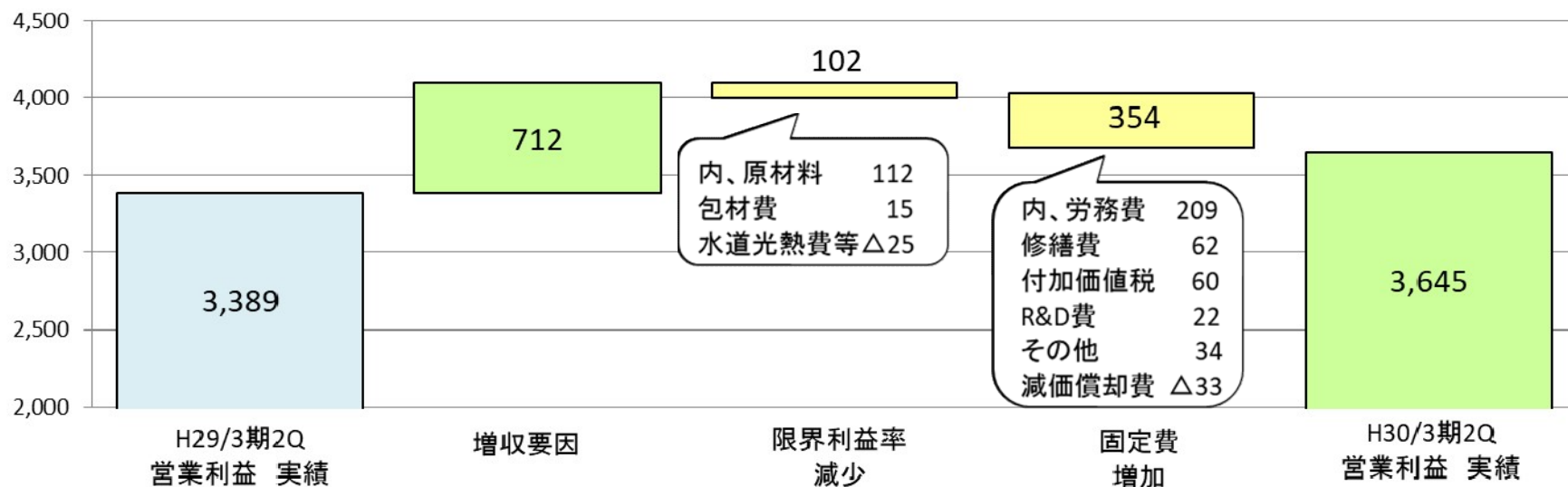
■利益

(単位：百万円)



【前期比較】単体業績の概要〔利益変動要因〕

■営業利益 …3,645百万円 前年比256百万円(7.6%)増加 (単位：百万円)



■経常利益 4,074百万円 前年比674百万円(19.9%)増加

(単位：百万円)

増加要因	営業利益増加	256
	デリバティブ評価損改善	88
	受取配当金等	131
	為替差益	106
	為替差損	115
減少要因	受取利息	△ 10
	為替差損 為替ヘッジ	△ 30
	合計	674

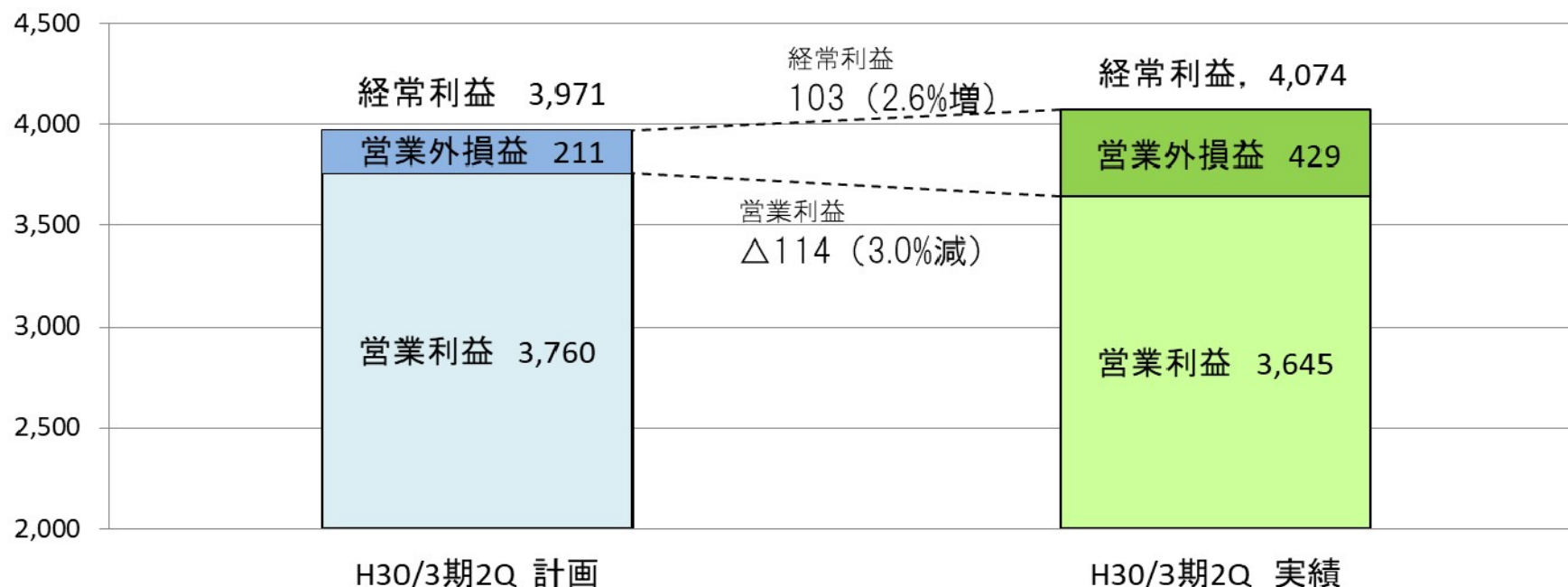
【計画比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は計画比551百万円の増加となりました。

■利益

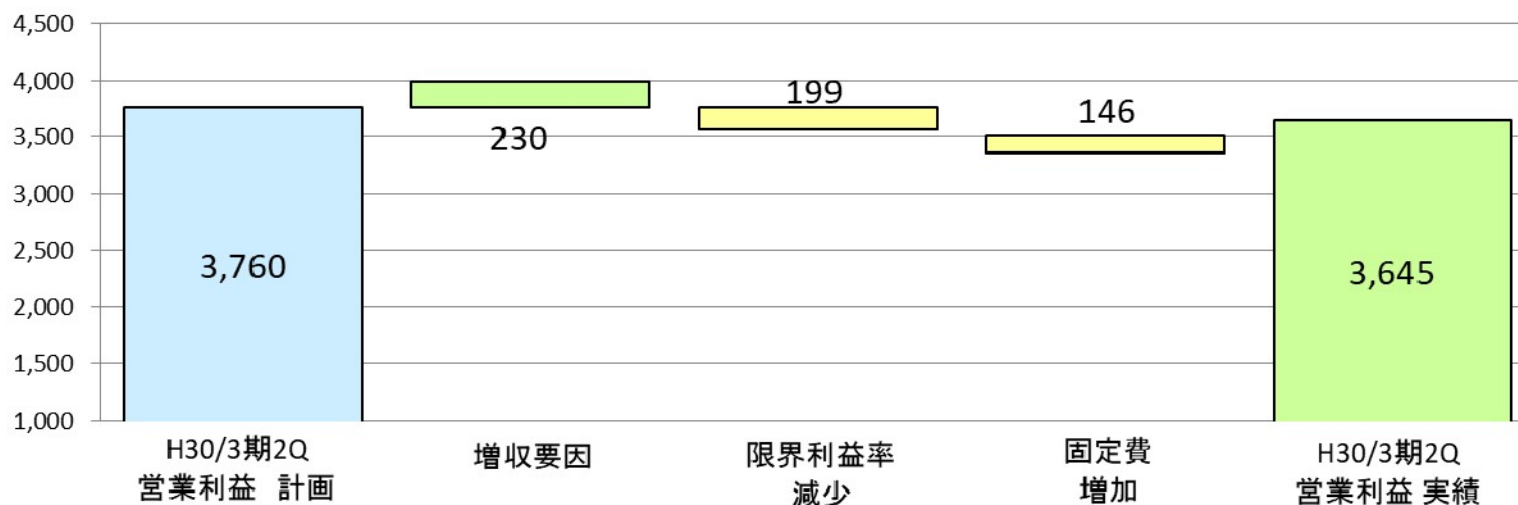
(単位：百万円)



【計画比較】 単体業績の概要〔利益変動要因〕

■ 営業利益 …3,645百万円 計画比114百万円(3.0%)減少

(単位：百万円)

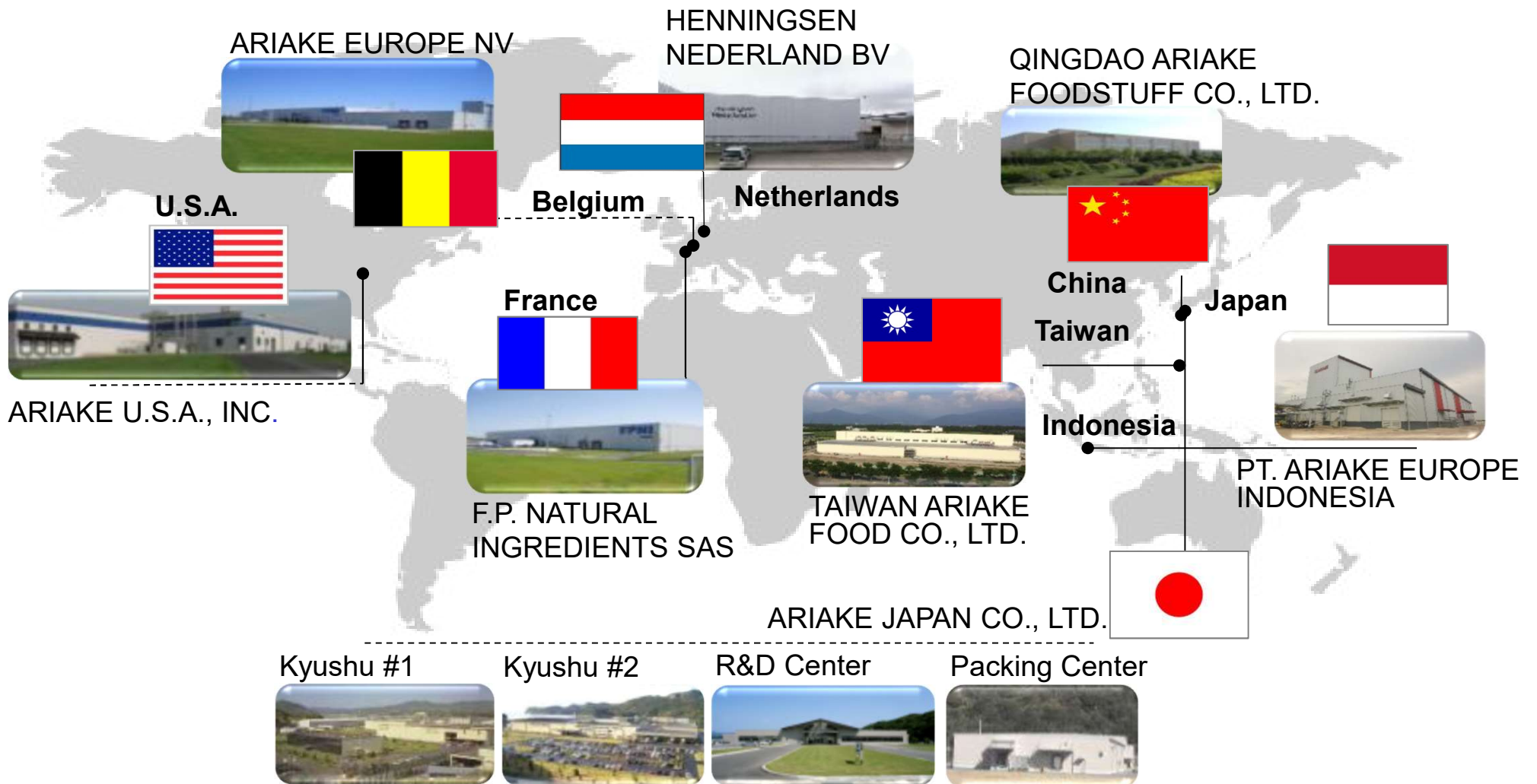


■ 経常利益 4,074百万円 計画比 103百万円(2.6%)増加

(単位：百万円)

増加要因	受取配当金	126
	為替差益	42
	その他営業外費用	53
減少要因	営業利益減少	△ 114
	デリバティブ評価損	△ 4
合計		103

アリアケグループの「世界8極体制」



平成30年3月期第2四半期 主要子会社の概要

□ 主要子会社

(現地通貨ベース)

◆ 米 国

既存食品加工会社からの受注増が売上を牽引しました。また、外食向け販売も一部寄与しました。生産増による生産コスト減及び水道光熱費の減少も利益改善に貢献しました。

◆ アジア

中国は、既存食品加工会社及び外食向けからの受注増により増収増益となりました。

台湾は、既存外食向け受注増が売上を牽引しました。一方、新工場稼働に伴うコスト増にて減益となりました。

インドネシアは、来年初頭の稼働を目指します。

◆ 欧 州

ベルギー・フランス・オランダの3拠点連携により、欧州圏内の売上を拡販し、増収増益となりました。

第2四半期 地域別実績

※子会社は連結調整後

(単位:億円)

	H30/3期 2Q(A)	H29/3期 2Q(B)	増減	
			(A-B)=C	%
売上高	257.9	221.8	36.1	16.3
アリアケジャパン	186.3	169.0	17.3	10.2
子会社 計 ※	71.6	52.8	18.8	35.6
米国	27.3	18.1	9.2	50.8
アジア	26.8	20.5	6.3	30.7
欧州	15.9	12.4	3.5	28.2
日本	1.6	1.8	△ 0.2	△ 11.1
営業利益	52.7	45.8	6.9	15.1
アリアケジャパン	36.5	33.9	2.6	7.7
子会社 計 ※	16.2	11.9	4.3	36.1
米国	7.8	4.3	3.5	81.4
アジア	6.9	6.2	0.7	11.3
欧州	1.4	1.3	0.1	7.7
日本	0.1	0.1	0.0	0.0

USD	112.0	102.9	9.1	-8.1%
EUR	128.0	114.4	13.6	-10.6%
人民元	16.5	15.5	1.0	-6.2%
台湾ドル	3.7	3.2	0.5	-13.6%

通期 地域別計画（連結）

※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	売上高			営業損益		
	平成30/3期 計画(A)	平成29/3期 実績(B)	差額 (A-B)	平成30/3期 計画(A)	平成29/3期 実績(B)	差額 (A-B)
アリアケシ`ャハ`ン	380.3	360.3	20.0	79.1	75.0	4.1
子会社計※	140.6	127.7	12.9	31.4	27.7	3.7
米 国	50.7	44.8	5.9	12.5	11.1	1.4
ア ジ ア	57.3	50.5	6.8	14.2	14.2	0.0
欧 州	29.5	29.0	0.5	4.6	2.3	2.3
日 本	3.2	3.4	△0.2	0.1	0.2	△0.1
合 計	520.9	488.0	32.9	110.5	102.7	7.8

USD 110.0 116.5 -6.5 5.9%

EUR 120.0 122.7 -2.7 2.3%

今後の事業計画 ①

(売上高はいずれも連結調整前のものです)

3年後の平成32年3月期の連結売上高は600億円台、営業利益率21%+を目指します。単体（アリアケジャパン株）は毎年20億円の増収、営業利益率20%+を予想します。連結子会社は、特に海外拠点の更なる成長に向けて戦略的投資も視野に積極的な事業を展開して参ります。

□ 米 国

加工食品及び外食向けへの販売増強により、平成32年3月期の売上高は72億円を目指します。

□ アジア

現地での販売強化を図り、平成32年3月期の売上高は中国54億円、台湾28億円、インドネシア5億円を目指します。

□ 欧 州

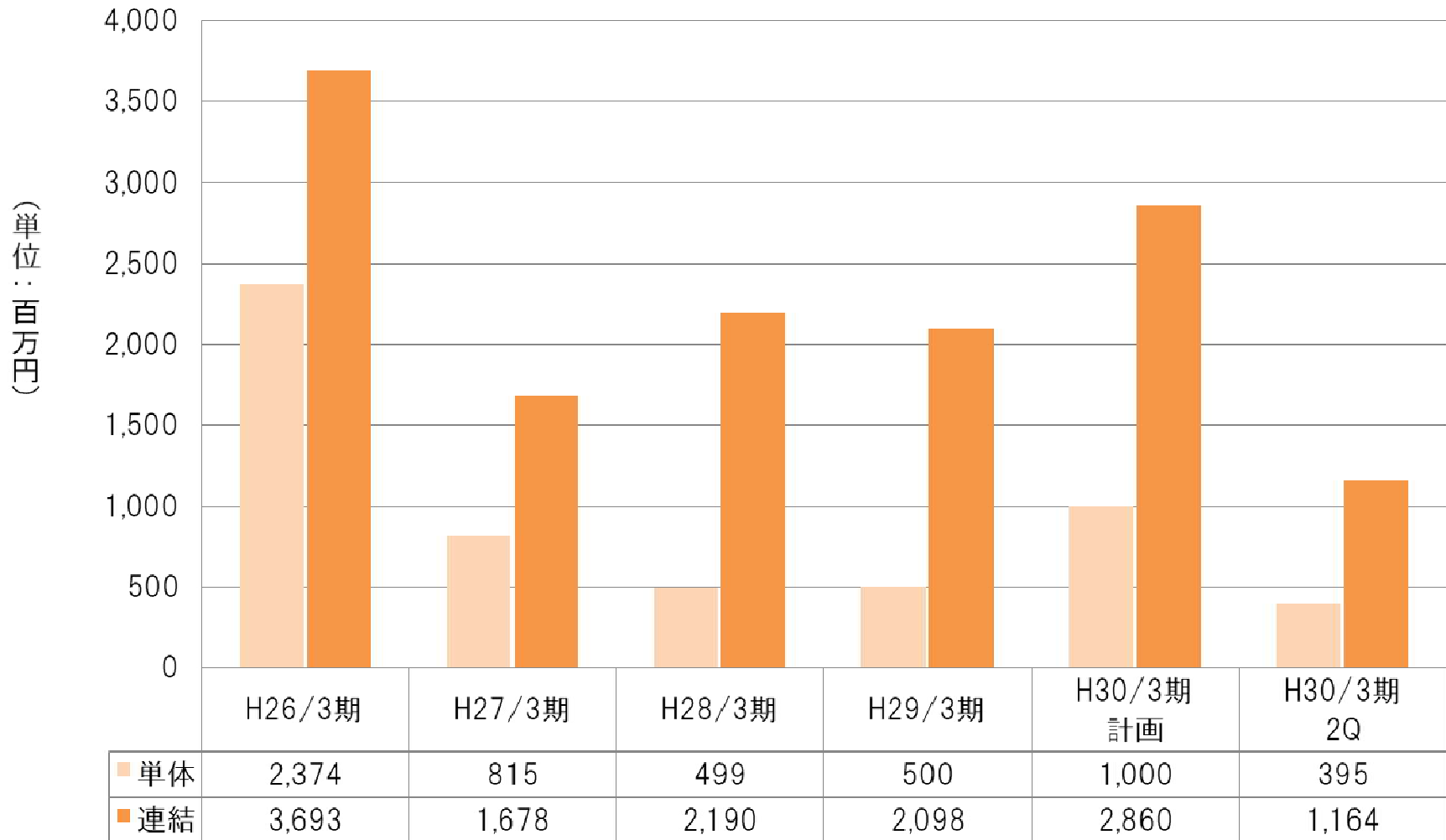
欧州圏での売上強化を加速させると同時に日本への原料供給増を図り、平成32年3月期の売上高は48億円を目指します。

今後の事業計画 ②

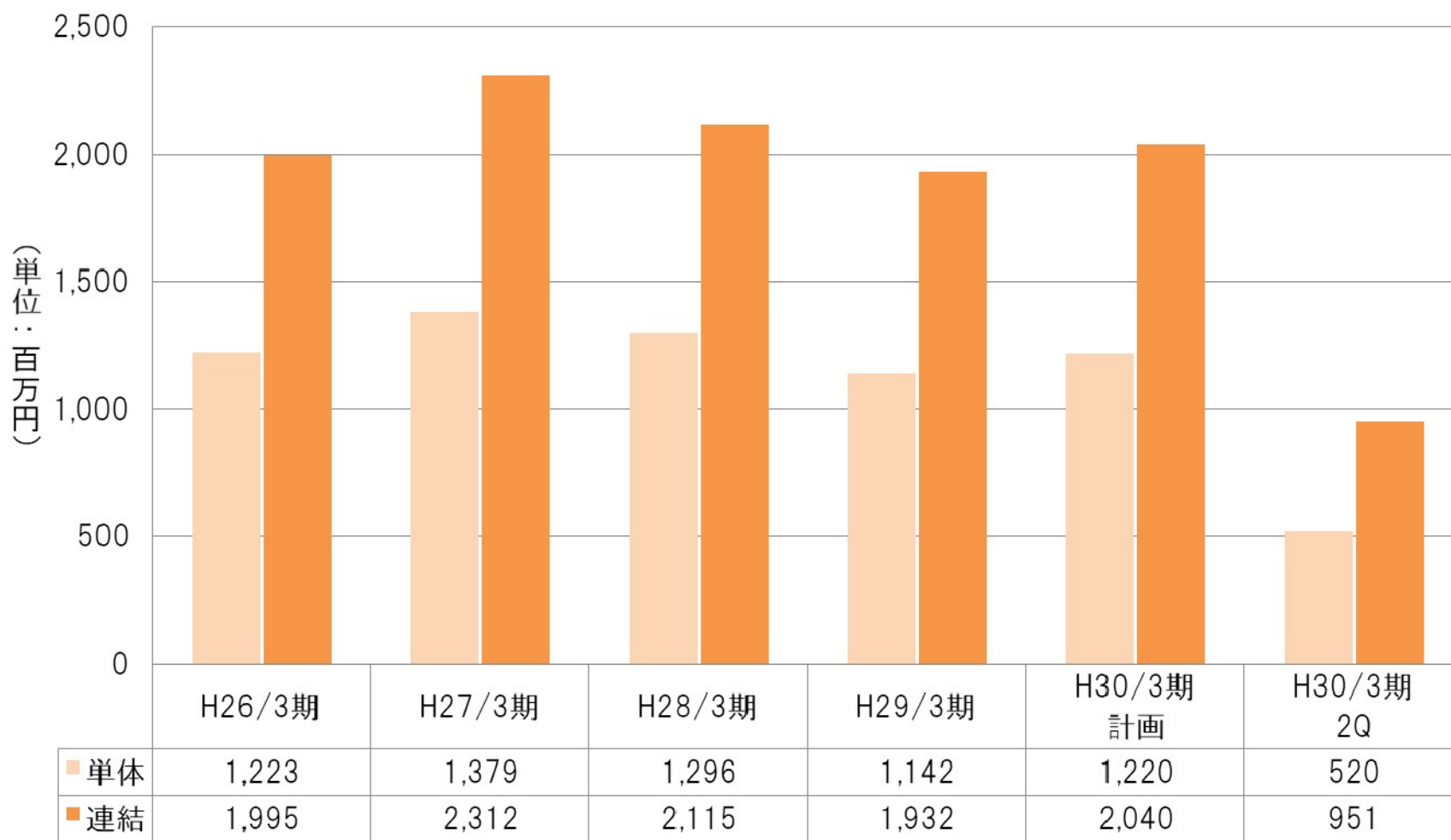
(単位:億円)

		実 績				計 画		
		平成26/3期	平成27/3期	平成28/3期	平成29/3期	平成30/3期	平成31/3期	平成32/3期
売上高	単 体	296	313	345	360	380	400	420
	連 子 結 社 会	96	124	144	153	166	198	218
	連 結 調 整	△20	△28	△25	△25	△25	△27	△29
	連 売 上 結 高	372	409	464	488	521	572	609
営業損益	単 体	53	56	67	75	79	83	87
	連 子 結 社 会	3	7	21	28	31	39	44
	連 営 業 損 益	56	63	88	103	111	122	131

設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想（計画）にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。

本日は、ご清聴有難うございました。